

# 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

長浜市立塩津小学校 教諭 弓削 直斗

## 1 単元名 見つけよう伝えよう 塩津のたからもの

### 2 単元の目標

- ・ 自分たちが住んでいる地域のよさや知り、それを伝えるための方法や自分たちにできることが分かる。 (知識及び技能)
- ・ 地域のよさについて情報を集め、相手に伝わりやすいようにまとめたり表現したりする。 (思考力・判断力・表現力等)
- ・ 自分が地域の一員であることを自覚し、地域のよさをいろいろな人に伝えようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3 単元について

#### (1) 児童観

本学級の児童は、2年生の時に、生活科の学習で「町たんけん」を行っている。自分たちの住んでいる字を探検し、何があるのかを自分の目で観察しまとめる活動をしている。また、1学期には総合的な学習の時間に「水すまし」という身近な川の水質を調べる学習を行った。その学習を通して、自分たちの住んでいる地域には、豊かな自然があることに気づくことができた。同時に、他にも塩津のよさがあるのではないかと考え、調べてみたいという思いをもった。

#### (2) 教材観

本校の校区には、豊かな自然や、歴史ある建物などがたくさんある。児童たちも、1学期には身近な川について水質調査を行い、自分たちの住んでいる地域にある川は水質がきれいだということを感じた。

この単元では、1学期の学習からさらに視野を広げ、地域のよさや、自分も地域の一員であることに気づき、探究的な学習を通して課題を解決したり、地域の一員としての自分を考えたりする力を伸ばしていきたいと考え、本単元を設定した。

また、地域の方もこの学習に毎年、協力してくださっており、児童たちをサポートする体制が整っている。学校と地域との距離も近く、温かく見守ってくださっているので、児童たちも安心して学習に取り組めると感じ、この学習を設定した。

#### (3) 指導観

単元の指導にあたって、自分の伝えたい塩津の“たからもの”について調べていく。建物や自然、食べ物や歴史など、おすすめしたいものを選択することができるようにする。調べ学習では、4人1組のグループを作り、伝えたい塩津の良さに合わせて本やパンフレット、タブレット端末等を効果的に用いるとともに、地域の方や施設等現地での取材活動も取り入れ、人や施設とのかわりを通して、自分たちの住んでいる地域の良さに気付かせたい。そして、調べたことを伝え

る活動に向けてタブレットを活用し、グループごとに情報を整理・分析し、まとめていく。まとめ方も児童たちがロイロノートと Canva で選べるようにして、どの情報をどのような方法でまとめ、表していくと効果的に伝えることができるか考えることができるようにする。途中で、一度お互いのグループに伝える活動を設定し、自分たちが伝えたいことがしっかりと伝わるかを交流し合う。学級で交流した後は、全校の学習発表会で、他の学年や保護者、地域の方に塩津の“たからもの”を伝える。自分たちの力で“たからもの”をまとめ、伝えることができたという実感を味わうことで、よりよい未来社会の実現へ自信を持ち、地域の一員として、地域や人とのつながりを大切にして生きていこうとする気持ちを高めることができるだろう。

#### (4) ESDとの関連

##### ・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…地域とのつながりに気付き、塩津のよさを知るとともに、それを自分たちも周りに伝えていくことが大切であること

連携性…一人ではなく、周りと協力して「塩津の良さを伝えるために、自分たちには何ができるのか」について考え、意見を出し合って行動すること。

##### ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

他者と協力する力…地域のよさやすばらしさを広めるために、地域の方へのインタビューや施設の訪問等、他者と協力して探究する。

進んで参加する態度…自分が地域の一員であることを自覚し、地域のよさやすばらしさをいろいろな人に進んで伝えようとする。

##### ・本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正…先人や現代の人たちの苦労や努力によって伝統文化が守られてきたことを理解するとともに、これから自分たちも伝え大切にしていかななくてはならない。

人権・文化を尊重する…地域に受け継がれている様々な伝統や文化を尊重することが大切である。

##### ・達成が期待されるSDGs

11 住み続けられるまちづくりを

#### 4 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 探究活動を通して地域の人とつながり、自分も地域の一員であることを理解している。 ② 地域のよさを知り、伝えるための方法や地域のために自	①グループ活動で、地域のよさを伝える方法をいろいろな視点から考えている。 ② 探究活動を通して必要な情報を集めるとともに、集めた情報を効果的、協働的にま	① 「塩津のよさを伝える」という目標に向けて、見通しを持って探究的な学習に取り組もうとしている。 ②本単元で学んだことを今の生活や学習でどう生かしていくか考

分たちにできることが分かる。	とめて、伝えている。	え、自己の生き方を見つめている。 ③ 地域に自ら出向き、積極的に地域のよさを知る活動に取り組もうとしている。
----------------	------------	---

## 5 単元の指導計画（全8時間）

主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
1 自分たちが知っている塩津の良さを話し合う。 ・学級で話し合う。 ・お家の人へインタビューをする。	・塩津の有名な建物や、施設などの写真を用意し、視覚的にも考えやすくする。 ・児童だけでなく、保護者にも協力をお願いする。	ウ① 「塩津のよさを伝える」という目標に向けて、見通しを持って探究的な学習に取り組もうとしている。
2、道の駅を見学して塩津のよさについて考える。	・道の駅の見学を通して、実際に目で見たり聞いたりできる体験をさせる。	ウ③ 地域に自ら出向き、積極的に地域のよさを知る活動に取り組もうとしている。
3、伝えたい塩津の良さを決めて、グループに分かれる。 ・伝えたい塩津の良さを話し合っ て絞る。	・教師で、グループを決めるのではなく、児童が決めた伝えたい良さをもとに、「自分が伝えたい思い」を大切に してグループを決める。	ア② 地域のよさを知り、伝えるための方法や地域のために自分たちにできることが分かる。
4、情報を集め、整理する。 ・タブレットを活用しながら、自分たちが集めた情報を整理する。	・タブレットのロイロノートを活用して、情報を整理させる。 ・調べる方法は、本やパンフレット、インターネットやインタビューなどを活用する。	イ② 探究活動を通して必要な情報を集めるとともに、集めた情報を効果的、協働的にまとめて、伝えている。
5、発表の準備をする。 ・学習発表会で発表するための準備をする。	・発表の資料を作る際には、タブレットを活用するが、ロイロノートやキャンバなどの選択肢を与える。	イ① グループ活動で、地域のよさを伝える方法をいろいろな視点から考えて

<p>6、お互いのグループで発表しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会に向けて、改善すべきところを考える。</li> </ul> <p>7、自分たちのまとめたことを発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習発表会で他の学年や保護者、地域の方にまとめたことを伝える。</li> </ul> <p>8、学習を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの思いを相手に伝わるためにどうすればいいかを考えられるような声かけをする。</li> <li>・相手のグループの発表を聞くときのポイントをはっきりさせる。(内容、声の大きさや速さなど)</li> <li>・児童の発表のサポートを行う。(スクリーンの準備等)</li> <li>・学習を通して、自分たちが地域の一員として何ができるのかを考えさせる。</li> </ul>	<p>いる。</p> <p>イ① グループ活動で、地域のよさを伝える方法をいろいろな視点から考えている。</p> <p>イ② 探究活動を通して必要な情報を集めるとともに、集めた情報を効果的、協働的にまとめて、伝えている。</p> <p>ア① 探究活動を通して地域の人とつながり、自分も地域の一員であることを理解している。</p> <p>ウ② 本単元で学んだことを今の生活や学習でどう生かしていくか考え、自己の生き方を見つめている。</p>
--	--	---